

# 母と暮日せは

2018年 11月23日(金・祝)

市川市文化会館 小ホール

14時開演(13時30分開場) ※未就学児入場不可

こまつ座 第124回公演

富田靖子

松下洸平



原案 井上ひさし  
作 畑澤聖悟  
演出 栗山民也

企画 井上麻矢  
音楽 国広和毅  
美術 長田佳代子  
照明 小笠原純  
音響 山本浩一  
衣裳 前田文子  
メイク 鎌田直樹

方言指導 柄澤りつ子  
宣伝美術 安野光雅  
演出助手 坪井彰宏  
舞台監督 村田旬作  
制作統括 井上麻矢  
制作 若林潤

遠山ちあき  
嶋拓哉

全席指定 5,000円

ローズメンバーズ1,000円引き  
(1会員4枚まで)

チケット発売日

2018年7月21日(土)10時

【主催 お問合せ】

(公財)市川市文化振興財団

047-379-5111

<http://www.tekona.net/>



こまつ座 第124回公演

# 母と暮せば



原案 井上ひさし  
作 畑澤聖悟  
演出 栗山民也  
協力・監修 山田洋次

平和を願うすべての人に捧げる、こまつ座「戦後」命“の三部作”の第三弾。  
ヒロシマ(「父と暮せば」)、オキナワ(「木の上の軍隊」)に続く、  
ナガサキを描いたこまつ座渾身の一作がついに幕を開ける。  
戦後70年に完成し、日本アカデミー賞をはじめ数々の賞を受賞した映画「母と暮せば」をもとに待望の舞台化。  
井上ひさしが遺したナガサキの物語を畑澤聖悟(劇団 渡辺源四郎商店)が引き継ぎ、  
栗山民也の手によってここに生み出される。

出演 富田靖子  
松下洸平

核兵器というのは、どこまでも人間をつけ回し、なんどもなんども人間を騙し討ちにして、人間の生きる勇気と誇りとを台なしにする悪魔の贈物であって、こんなものを兵器だの爆弾だのと「やさし気に」呼んではいけない。たとえ、どんな理由があろうと、こんなものをつくったり、保持したり、人間の上に落としたりするやつは、この世の大ばかやろうである。

彼等はじつに人間の顔をした悪魔である。そう呼んでまちがいない。いや、人類の中で最初に、核兵器の正体が悪魔の弟子どもであることを体験したわたしたちには、そう呼ぶ資格と、そう呼ばねばならない(人類にたいする)聖なる務めがあります。  
——— 井上ひさし

2018年11月23日(金・祝)

市川市文化会館 小ホール

14時開演(13時30分開場) ※未就学児入場不可

全席指定 5,000円 ローズメンバーズ 1,000円引き(1会員4枚まで)

【主催・お問合せ】

(公財)市川市文化振興財団 TEL 047-379-5111 <http://www.tekona.net/>

【プレイガイド】※発売初日は※印のある発売場所のみ(窓口販売はありません)

財団公式HP  
市川市文化会館

※<http://www.tekona.net/>  
047-379-5111

※047-393-7111(特別電話)

行徳文化ホールI&I  
芳澤ガーデンギャラリー  
チケットぴあ

047-701-3011  
047-374-7687

※0570-02-9999

Pコード:487-981

イープラス

※<http://eplus.jp/>